

# 神戸関電ビル完成によせて

高部 泰

（関西電力株式会社神戸支店長）



「いよいよ出来上がりましたな。それでも高い塔が乗ってますな」、「面白い形をしてますな。あの塔は一体何に使うのですか」……。

先の震災で建て替えを余儀なくされ、このほど竣工した「神戸関電ビル」に

関してよくお受けする質問です。

震災直後の応急復旧には、社内はもとより全国の電力会社、工事会社から六千数百名に上る応援を受け、一週間後の二月二十三日には送電可能なお客様すべてに電気をお送りすることができ、街に灯りを取り戻すことができました。

マンションの廊下に、街灯に灯りが戻った瞬間、思わず起き上がった住民の皆さまの拍手が未だに忘れられないと当時を振り返る関係者も数多くいます。

応急復旧のあと、被害を受けた電力設備の本格復旧を優先、その一巡を待つて、ビルの建て替え工事に着手、おかげさまで、このほどようやく新しいビルが完成いたしました。

冒頭の話に戻りますが、私どもにとつては、質の良い電気をお客さま方に安定してお送りすることが基本使命です。「質」とは「電圧、周波数」が一定

の値に維持されていることです。時々刻々変動する地域ごとの需要量に見合って同量の電気をお送りするため、ビル内に設けた「給電所」から主要な変電所などに無線で指令を送り、電気の流れをコントロールしています。この無線通信には高い信頼度が要求されます。このため、必要な高さ、ビル本体、塔体の耐震性能を確保したうえで、景観にも配慮した結果、このような形になつたわけです。

あれから五年、当地の復興も一巡し、これからは質的な面の充実と新たな再生、発展に向けての取り組みが展開されようとしておりますが、過去、幾度か天災、戦災に見舞われながら都度立派に立ち上がり、新たな発展を遂げてきた神戸、今は苦しくとも五年後、十年後に大きな希望を託したいと思つています。

新しいビルには、省エネ、電気の効率利用の面で様々な工夫をとり入れ、ご専門の方々のご参考に供したいと考えております。また、市民の皆さま方の文化活動にご利用いただけるよう、ギャラリーも設けております。皆さまのお越しをお待ち申しております。

# アリスの健康靴・足に合った正しい靴で快適歩行をサポート

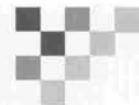


現代生活の中で、私達の足には大きな負担がかかっています。これから足の悩みを予防されたい方にも、既に、足の痛みに悩まれている方にも、足に合った正しい靴をはかれることをお勧めします。株式会社アリスは、最新の整形外科水準に基づいて作られたドイツ製健康靴を中心に、多くのブランドを取りそろえ、皆さまの快適で健康な生活をサポートすることに全力を注いでいます。月に一度、無料のクリニックデイも設けておりますので、お問い合わせください。経験豊かなスタッフと専門技術を持つ整形外科靴マイスターと共に、皆さまのご来店をお待ち致しております。



代表取締役社長 アリス・クリスチャンス





KOBECCO  
2000

小谷 泰子

## 時間と空間の一点で

YASUKO KOTANI

〈写真家〉



芦屋市立美術博物館にて 撮影／池田年夫

多重露光を用いた画面構成、裸体の自画像を通して、自らの内面や感情を表現し続いている写真家の小谷泰子さん。震災後三年間にわたり撮影した作品群「Destruction in Blue」は、自らも体験した地震の恐怖、破壊を直接的に表現しているものだ。

薄がからみつく深い海の底、濃いブルーの空間に等身大の彼女が、さまざまなポーズで重なり合い、心の闇を無言の表情で訴えかけてくる。「自画像を撮るという極めて個人的な試みだけれど、同時代を生きる人々との接点になれば」と話す。

「日々たまつていく感情——ある時点での感情を吐き出したい」カメラに向かう。時間と空間のある特定の一点に身をおき、カメラと向き合ううち、そこはいつしか彼女の「聖なる領域」となる。母親の胎内の記憶を呼び覚ます「羊水」のような心地よい空間で、自らを増殖させるように何度もシャッターをきる。カメラと自分を繋ぐ一〇mの延長リリースが「へその緒」の役割となり、セルフタイマーでは決して写すことのできない「感情の高まり」を捕らえるのだ。

撮影が終了し現像するまでの、僅かな時間が経過した後の自分自身との「再会」は、「いつも恐いと思う」。しかし、それ以上に「自分自身と見詰め合いたい、過去の自分を振り返って越えたい」。そこには確かに「自己の超越」がある。「ひとつひとつの作品は一生の断片にすぎず、死を迎える直前の一枚で作品が完成する。私にとつて撮るという営みが生きることと同時進行しているんです」

アレックス楊

## 神戸から世界へ

ALEX YANG

〈アレックスエンタープライズ株式会社  
代表取締役〉



アレックスプロコスメコローレにて 撮影／米田英男

「勇気をもつてダサくしろ」とスタッフには言いますね。美容業界の先端を行くトップの口から意外な言葉がもれた。

神戸で生まれ育ち、二十三歳でヘアスタイルリストの勉強のため、ニューヨークに旅立った。帰国して美容室アレックスの一号店を六甲に出したのが昭和四九年。現在はニューヨーク、台湾を含め、十四店舗を展開する。東京進出の誘いもあったが「世界から見れば同じ日本。それならば、ここから世界に発信したい」。神戸が好きで、この街独自の文化の発展をも願っている。個性のある点の集まりが線となり、その街の特性が自然に創り出されていくこと、それが文化、まちづくりの原点だと考える。

クリエイティブな感性は美容業界にとどまらず、昨年末には古くからあった映画館を同じコンセプトをもつた同志たちとチャイニーズレストランとして蘇らせた。「同世代にはノスタルジーを、若い世代には空間のおもしろさを感じてほしい。新幹線は便利だが、列車の旅もおもしろいでしょ」

冒頭の言葉は流行りのスタイルを追いかけ、それがベストと思いがちなヘアスタイルストリームと個人の個性を大切にしろという意味を含む。世の中は前ばかり進みたがるが、バック＆フォワードで少し進んだら元をふり返る—旧き良き物を見直すこと。それが結果として前進につながるという。

今後は装飾的な美容だけではなく、食・住など内面的な豊かさに視点を置いた空間づくりを手掛けていくつもりだ。夢が尽きることはない。

（前田）



#### †→第26回 KOBE FASHION CONTEST' 99 新たな個性が世界へ

2月6日、神戸ファッション美術館オルビスホールにて第26回神戸ファッションコンテスト' 99の最終審査会が開かれた。写真上のユニークなマタニティファッショなどで1次審査通過者20名の中から選ばれた5名がフランス、イギリス、イタリアへの留学のチャンスをつかんだ。写真左下はショー前日に提携した留学先の教授のみなさん。当日は留学地のパリやロンドンをインターネットで結び、ライブ中継が行われた。受賞者を囲んで(写真左上)

## K O B E コウベスナップ S n A P



#### †南和恵さん個展開催

画家南和恵さんの個展が、神戸二紀展のサンバル賞受賞を記念して、サンバルのギャラリーで2月4日から1週間開催。花の振るような神戸の街の風景画はさわやか。(写真は南さんを囲んで)



#### †700人のOh, HAPPY DAY!

2月12日東灘区のうらホールにて東神戸教会を拠点とするゴスペルクワイア「KOBE Mass Choir」のコンサートが開かれた。この企画は東灘区が募集した「夢実行コンクール」の優秀企画賞が実現に至ったもの。被災地神戸への励ましの歌を歌っているゴスペルシンガー岡崎ひろみさんをゲストに迎え、700人の大きな歌声で会場中が一つになった

#### †神戸二紀展 今年も力作が勢揃い

第44回神戸二紀展が兵庫県県民会館で開催。先立ち、2月8日授賞式と懇親会が県民会館10F「福の間」でとり行なわれた

## 神戸二紀展表彰式・懇親会





→ウェスティンホテルオープン  
ウェスティンホテルロビーにて画家の大石可久也さん夫婦(写真左)。3月6日披露パーティーにてインテリア・デザイナーのマリアン・ガウアーさん、ウェスティンホテル総支配人丸山裕さんを囲んで(写真下)



→花さかり、親子で舞う  
兵庫県日本舞踊協会の春の祭典が3月4日こくさいホールで開催された。花さかりを踊った花柳吉叟師と花柳吉小斐さんが楽屋にて。大和三千世、大和孔子さんと



→ふれあいの祭典に幕  
第11回兵庫のまつり「ふれあいの祭典」が3月10日兵庫県公館で開かれた。写真は、祭典を盛り上げたことにより「ふれあい大賞」を受賞した、明石ジャズダンスファクトリーJ's他11団体の代表の方々

→ミレニアムひなまつりファッショントーク  
藤井美智子さんのファッショントークミレニアム2000ひなまつりが、3月4日神戸ポートピアホテルで開催された(写真は藤井美智子さんを囲んで)



## K O B E コウベスナップ S N A P



→ポンテ・ペルレ2000  
神戸クラシックカーバレード  
淡路花博開催記念として、今年も六甲アイランドに世界の名車110台が集結した。各車のドライバーたちは、まるで子供のように顔を輝かせてハンドルを握っていた。これぞ大人の遊び!



子供のように顔を輝かせてハンドルを握っていた。これぞ大人の遊び!



子供のように顔を輝かせてハンドルを握っていた。これぞ大人の遊び!



→水澤節子さんを祝う会

水澤節子さんが、兵庫県の文化奨励賞を受賞され、お祝い会が元町の眉月堂ホールで3月4日の夜開かれた。きもの姿の愛らしい水澤さんを囲んで



→穴門商店街50周年  
3月10日、ホテルオーラクラ神戸で元町穴門商店街50周年のパーティーが開かれた。関一雄会長は「穴門は、元町・南京町・大丸に通じる花道」と思って、商店づくりをしたい」とあいさつ

# 震災から 五年ぶりに日本一！

## V 神戸製鋼 ラグビー部

写真提供/デイリースポーツ社



増保輝則キャプテンを神鋼フィフティーンが胴上げ



増保キャプテンが持ち前のスピードを生かして突進！



長身ラーセンがボールをキャッチ

ワールド善戦およばず。  
神鋼が神戸対決を制す！

全国社会人ラグビーの決勝は、神鋼とワールドの神戸勢の対決に。試合会場となつた花園ラグビー場には、赤（神鋼）と青（ワールド）の旗をもつた応援団がびつしり。両チームの氣迫のこもつたプレーに一喜一憂した。終了間際に、ワールドが立て続けにトライを決め、神鋼を追い上げたがあと一歩及ばず。神鋼が5年ぶり8度目の社会人日本一に輝いた。

WE ARE BACK!

日本一を決めた神戸製鋼フィフティーンの胸に刻み込まれた文字。3月10日、花園ラグビー場。神鋼がトヨタ自動車をやぶり、通算8度目の日本一に

返り咲いた。

今年の神鋼の強さは際立っていた。

増保、元木、吉田、伊藤、大畠、日本代表経験者をキラ星のごとくそろえる



ワールドの猛攻に耐えてゲーム終了。神鋼5年ぶりの社会人制覇！



WE ARE BACK。神鋼が日本一に戻ってきた

神鋼ファイフティーンの力が發揮されたのは、全国社会人リーグに入ってきたから。昨年日本一の東芝府中戦を42対0の大差で下し、決勝では同じ神戸に本拠地をもつワールドと対戦。震災後、神戸っ子が待ちに待ったラグビーの復活が、神戸対決という最高の形で訪れた。

ワールドにとつては昭和59年の創部以来、初の決勝進出。試合は35対26と神鋼が勝ったが、ワールドも終了間際に立て続けにトライを奪い、スタンドを沸かせた。畠崎廣敏ワールド社主も「うちは神鋼ほどタレントはないが、努力して互角の戦いを演じた。トライ数も4対4。今日の戦いはワールドの企業姿勢を表しているようだつた」。

神鋼の強さは、ラグビー日本一を決定する日本選手権でも際立っていた。決勝では、宿敵トヨタ自動車を相手に49対20で大勝した。増保輝則キヤブテンは「きついときにきついプレーを選択したことが勝利につながった。チーム一丸となつて勝つことだけを目標にしてきた」とふり返った。

神鋼の今年の戦いぶりを見ていると、平尾、大八木、林が7連覇を築いた第一期黄金時代に勝るとも劣らない。この日本一は第二期黄金時代のスタートのよう。通算8度目の日本一は最多タイ記録。この記録をどこまでものばしてくれるのだろうか。



全国社会人ラグビーの決勝は神戸対決。神鋼とワールドの闘志がぶつかる



神鋼の司令塔ミラー（左）にワールド遠藤



ARTIST  
INTERVIEW!

# 「夢と懐かしさを 歌に託して」

中島啓江<歌手>

ジャンルにこだわることなく、名曲の数々を  
歌い続いている中島啓江。  
彼女の歌に託している思い、亡き母の思い出など、  
神戸公演を前に語っていただきました。

## 何が飛び出すか お楽しみ

—今年もまた神戸で「夢で逢いま  
す」が開かれますね。

今回で四回目を迎え、もう私のラ  
イフワークですね。去年のステージ  
が終わってから、すぐに今回のこと  
が楽しみでしたから（笑）。

—どんなステージになるのですか。

今回はシックに、だけどアレンジ  
に凝つて、前半は昭和初期の歌で綴  
り、アジア、特に中国に思いを馳せ  
て情緒いっぱいのステージにする予  
定です。上海ジャズなど楽しいアレ  
ンジを考えています。

—ステージの企画もされるのですか。

コンサートの選曲はもちろん、構  
成、演出全て自分でやります。衣装  
も曲のイメージを中心と考え、一部  
で三回、二部で二回は着替えます。  
二部の最初は、燕尾服でドイツの指  
揮者っぽくバンドマンの縦笛を指揮  
します。この楽器は誰でも一度は吹  
いたことのある懐かしい楽器ですよ  
ね。見に来ていただいたお客様に、  
どこか懐かしさを感じてもらいたく  
て、見た目でも郷愁を感じる素材  
をステージにはいつも取り入れてい  
ます。

—歌のために何か注意されています  
か。

食べ物や飲み物を特別に制限する  
ことはありません。ただ、本番前に

は魚は食べないようにしています。骨が刺さったら困るでしょ（笑）。また、レッスンだけではなく、いろいろなことをやつてみるのが大切だと思っています。絵を描くこと、本を書くこと、人と出会うこと、全ての経験が歌うためにプラスになつてきますね。

体調管理はどうされていますか。

毎月検診は受けています。健康で長生きしたいですから（笑）。ミュージカルをやると自然に痩せちゃうけど、ダイエットをしようとは思いません。それよりもカッコ良く太りたいですね。黒人のおばさんのように。私まで痩せちゃったら、太つていることが悪いというような世の中の間違った考えに負けちゃうでしょ。私を見て勇気を持つてくれる人たちのためにもがんばらないと。ちなみに森公美子さんとはよく似てるようと思われがちで、私が出てなくとも彼女がテレビに出てたら私まで出てるようと思われちゃうぐらい（笑）。仲はいいですよ。からだのジヤンルが一緒ですから（笑）。

ぱと思つて書きました。昔から母の夢は私が歌手になること、それだけでした。そのために母は内職もしてくれました。十枚作つて一円にもならない袋張りや花を作るんです。私も手伝いましたが、貧しさとか苦労は少しも感じませんでした。内職をしながら母と話をしたり、二人で野の草を摘んで、おひたしやお团子を作ることは本当に楽しく、人間として生きてるって感じがしてました。貧しくても心はリッチでしたね。

「そんな底から立ち直れたきっかけはあつたのですか。」  
自暴自棄になつていた時に「あなたの歌で多くの人が励まされているのですよ」と言つてくれた人がいました。その言葉で目の前の憂りがとれたような気がしました。私よりもつと辛く、苦しんでいる人が世の中の大勢いるつて思うことができました。それまでは自分が辛いつて思つっていましたから。  
「一本のタイトル『じゃあね』の意味は。」  
「じゃあね」は母の口癖でした。本番前に楽屋から出て行く時に、母はいつも口をとがらしてちよつとすねてこう言つっていました。この言葉には「じゃあね、またね」つていう決して終わりじゃないんだつていう意味が入っています。

貧しくても  
心はリッチだった

心はリツチだつた  
—亡くなられたお母さんのこと書  
かれた本を出されましたね。  
母とは姉妹みたいで、あまりにも  
おもしろい親子関係なので、他の人  
たちの親子関係も良くなつてくれれ

「じゃあね」  
また会える

—亡くなられてから、つらい時期が長かったと聞いていますが。

## 新しい時代に 良き歌を歌い継いで

## —神戸の印象はいかがですか

神戸はここ十年ほど毎年訪れていました。震災の後はチャリティーコンサートで来ました。今回の公演を行う新神戸オリエンタル劇場はすごくうれしい新劇場です。舞台と客席が近く、一体感があります。舞台から客席を見ても小さな灯りが点いてきれいなんですよ。

## 【プロフィール】

鹿児島県出身。昭和音楽短期大学ディプロマコースオペラ専修科修了。1979年藤原歌劇団入団。春平紀美女史、故・砂原美智子女史、マルチャラ・ゴヴォーニ女史らに師事。86年には初のソロコンサート「天高くオペラ热爱する秋」を開く。87年には宮本豊雅門のミュージカル「アイガットマーマン」に出演。95年の香港、97年のニューヨークと海外でもリサイタルを開く。舞台だけでなくテレビ、ラジオでもそのパーソナリティを生かし幅広く活躍中。著書に「今日も元気だオペラが見たい」「放課後の音楽室」「じゃあね」など。

—これから夢などはありますか。

今年2000年は次の時代へジャ  
ンプするための準備の年だと思うん  
です。21世紀だからと先走りで新し  
いものを追いかけるだけではダメ。  
何が大切か、なくしかけているもの  
を拾つて来なきや。世の中が無茶苦  
茶だと迎えられなかつた2000年  
ですから、改めて過去の人たちに感  
謝すべきですね。

日本は生きることに必死になつて  
いた時代があり、そこに流れていた  
メロディーがありました。そんな時  
代を生きてきた人たちには、今とり  
あえず平和な日本でゆつたりと聞い  
てほしい。若い人にもこんないい曲  
があつたんだと思つてほしい。私の  
仕事はいい歌をこれから時代に残  
すために歌い継いでいくことだと思  
つています。そのためにもこのステ  
ージ「夢で逢いましょう」はずっと  
続けていきたいですね。

前神戸市長

# 宮崎辰雄さんを悼む

新野幸次郎

（財団法人神戸都市問題研究所所長）

去る2月22日、前の神戸市長の宮崎辰雄さんが亡くなられた。市長退任後も、財團法人神戸都市問題研究所を設立、自ら理事長として活躍された。同研究所所長で神戸大学名誉教授の新野幸次郎先生に追悼の一文をお願いした。なお、4月6日に市民葬が予定されている。



神戸市役所に在職五十二年、うち、四期十六年は助役、五期二十年は市長。というような人は、今までいなかつたし、これからも恐らくないであろう。その宮崎辰雄さんが、とうとう八十八歳で逝かれた。

とりあげていうほどの肩書きをもたない、普通の人でも、その友人や家族の間で語り継ぎたいと思うことが山ほどあるものである。それがこれだけの役割を果し実に澤山の方々と係わりをもつてこられた宮崎さんの場合、どれだけ多様なものになるかは想像を絶する。宮崎さんを悼むには、係わりをもたれた多数の方々の一冊の本になるほどの声を集めることが必要である。そのことを了解されたうえで、私の拙文を許していただきたい。

行政マンとしての宮崎さんは、何よりもその都市経営に複式簿記的視点を導入した点で独創性を發揮した。すなわち、従来の公共投資は、その設備の減価償却費、継続的運営のための人的・物的経費等々を必ずしも十分計慮せず、ハードとしての設備がどれだけのお金があれば建設できるかで決められていた。それを宮崎さんは、当初から今日要望されるようになつてきている費用便益方式で決定しようとしてきた。また、都市開発に最近やつと注目されだ

したPFI（これまで公的部門が行つてきたプロジェクトの建設や運営を民間に委ねること）も導入していただき、

地方公共団体では前例のなかつた外債を発行して費用の極少化も図った。さらには、公的財政の単年度主義による限界を克服するために、第三セクターをいくつか設立し、そこで収益でつくれた基金を景気変動の調整手段として利用した。こうした都市経営の卓越した独創性は、今日でも多くの公共経済学者が認める通りである。

しかし、その宮崎さんも、現行の中央集権制度の壁は破ることができなかつた。すなわち、戦前および戦争直後の神戸経済は、横浜と名古屋のそれとほとんど同列に並ぶ水準であつた。ところが、戦時中の統制経済と戦後の産業構造の激変のなかで三十年代に入る神戸経済は完全に立ち遅れていつた。川鉄は千葉と水島に転出し、神鋼も加古川に、川重もまた坂出にその拠点を移していき、本社はすべて事實上東京に移つていつた。現行の地方税制の下で市民所得、したがつて、また市民福祉の向上を図ろうとする、市内での生産所得の増大を図る、すなわち、いわゆる開発を進める以外にない。その結果、神戸経済は巨大民間活力の欠如した中で、行政主導型の経済発展に

頼らざるをえなくなつた。

今日でも、北海道や沖縄の経済は、それぞれ開発庁という国家依存の体制になつてしまつて民間活力が希薄化してしまつたといわれる。大企業のリーダーシップと活力が希薄になつた神戸で、いかにして市内生産所得を増大させ、民間活力を強化してゆくかが、地方分権ないし地方主権の確立とともに残された課題となつた。自分のやり方の限界を自覚している人が、本当のリーダーであるといわれる。宮崎さんは、この限界を自覚しながら苦斗した。

かつて、宮崎さんは、幼くしてお母さんを失つた時から、弱いものの味方にになろうと考へるようになつたと話しておられた。神戸市が全国で初めて開学した神戸市婦人大学は、その設立に協力した多くの人々の力もあつたが、宮崎さんのこの気持ちを示す輝かしい業績の一つであつた。いくつかの都市で同じような大学をつくろうとした企野の人々と会い、自分のやり方についての意見を聞くのを楽しみにしていた。また、あれだけ永い間最高責任者の地位に立ちながら、率直な批評を聞く耳をもち、それをしてくれる友人をもち続けた。

宮崎さんは不幸にして市長を辞めてもあり、東京都でもその試みがなされたが、実現しなかつた。神戸市の婦人団体が十億円の市債を引き受けた。弱いものの味方といえば、神戸市の消費者保護に関連した諸施策は、のちに、国の消費者保護基本法成立の契機



ポートピア'81の開会式 昭和56年3月19日



天津市友好訪問団歓迎会 昭和53年9月相楽園にて

となり、神戸市の主催した消費者会議は、この問題を担当する経済企画庁の主催する会議よりも穩り多いといわれるものに発展していった。宮崎さんが全国に先駆けて制定した市民福祉条例、その中に独立した組織として作られた市民福祉調整委員会、および、そうした意向の集大成として自ら村長となつた「あわせの村」は高齢化社会を迎えるわが国全体の福祉対応の一つの象徴となるものとなつた。誰でも笑顔は美しい。しかし、はにかみ屋の宮崎さんの笑顔は格別な味をもつていた。宮崎さんは、ほんものを見出そうとして、日本を代表する各分野の人々と会い、自分のやり方についての意見を聞くのを楽しみにしていた。また、あれだけ永い間最高責任者の地位に立ちながら、率直な批評を聞く耳をもち、それをしてくれる友人をもち続けた。

宮崎さんは不幸にして市長を辞めて間もなく、車椅子の生活を余儀なくされ、自らが弱い人として社会を見つめるようになつた。宮崎さんは震災後、一部の人の批判も受けることになつたがそれに正面切つて応じることはしなかつた。宮崎さんは、これからあと、誰も真似ができる人生をかすかに微笑を浮かべて閉じることになつた。

# 「75年の長い道のりを越えて」 75周年祝賀会

神戸ロータリークラブ創立75周年記念例会・祝賀会



ある集い★神戸ロータリークラブ

一九二四年（大正十三年）松方幸次郎が初代会長をつとめ、日本で三番目のロータリークラブとして東京、大阪に次いで呱々の声をあげた由緒ある神戸ロータリークラブ（小曾根有七十五代会長）では、二月十日、貝原知事ご夫妻、笛山市長を始め内外のお客様を招き、神戸ポートピアホテルで柏井健一実行委員長のもと、五百名を超える盛大な七十五周年の記念祝賀会を開催した。

国際ロータリー第二六八〇地区（兵庫県域）ガバナー米谷収氏（神戸南ロータリークラブ所属）からは本部から届いた創立七十五周年認定書が伝達されたあと、祇園甲部歌舞会のおめでた「手打ち」によつて開幕。

お祝いに駆けつけた小曾根実・真・啓による小曾根ファミリーの華麗なジャズ演奏によつて締めくつた。

百周年にむかって新たなスタートを切るのに際し、小曾根有会長は

「神戸ロータリークラブは、七十五周年にわたり大水害、戦争、大震災など幾多の苦難の道を越えて、世界ロータリー発展史の上で大きい位置を占めてきたが、これからも地域社会に不可欠な存在として生き続けなければならない」と挨拶した。

（実行委員会副委員長 三木重昭・井植貞雄・寺本滉）

■問い合わせ／神戸ロータリークラブ事務局

神戸市中央区港島中町6・10・1  
TEL 078・306・2525  
FAX 078・302・2000  
<http://www.koberotary.com>  
e-mail [info@koberotary.com](mailto:info@koberotary.com)  
[kobe-rc@mitel.biglobe.ne.jp](mailto:kobe-rc@mitel.biglobe.ne.jp)

# 「奉仕と友愛」のライオンズクラブ 出会い、生きがい、助け合い



## ある集い★ライオンズクラブ国際協会335-A地区

ガバナー、キャビネット、リジョンチャーマン、ゾーンチャーマン会議のメンバー（2月19日ポートピアホテル）

「奉仕と友愛」を理念に、国際平和をめざし、よりよき社会の実現を願い設立された世界最大の奉仕団体ライオンズクラブ国際協会（会員数約百四十万名）。その一翼をなす三三五—A地区（遠藤英二ガバナー、酒徳正秋キャビネット幹事）は、兵庫県の半分、東南エリアを占める神戸、尼崎、芦屋、西宮、宝塚、伊丹、川西、三田、明石・稻美、淡路島、篠山・柏原の丹波地方などの地域に設立せる百九クラブ（会員数約四千八百名）を統括している。

地区ガバナーが提唱する「創造と感動」をスローガンに、献血・献眼の推進、盲導犬・青少年育成、留学生支援、身障者・高齢者福祉、災害援助、環境保全運動などの奉仕活動を展開、地域発展のために貢献し、トルコ・台湾地震の際もいち早く援助活動を行つた。

本期（一九九九年七月～二〇〇〇年六月）の最大イベント、第四十六回年次大会及びガバナー晩餐会は、四月二十三日、ポートピアホテルで二千人以上の参加を得て挙行される。

出会い、生きがい、助け合いの知性と友愛精神あふれるライオンズクラブへの入会は、男女を問わず、該当クラブ内の審査を経て招請される。

（地区キャビネット会計 中右瑛）

■問い合わせ／ライオンズクラブ国際協会

335—A地区キャビネット事務局

神戸市中央区港島中町6・10  
TEL 078・303・0303

# 悲願、初の日本一！



ある集い★田崎ペルーザFC

田崎真珠の女子サッカーチームが「田崎ペルーザFC」です。日本のトップリーグであるJリーグに在籍し、一九八九年より、田崎真珠の社員選手が中心となり活動しています。現在は、二十一名の選手が、午前中を田崎真珠各職場で勤務、午後は吉川町にある田崎真珠研修センターを中心に練習を行い、日曜日に試合に臨むといった活動を続けています。女子サッカーリーグが不況の影響を受け、大変厳しい状況下、田崎真珠はチームを存続させ、強化する方に力を傾けてきました。

その結果、先の第二十一回全日本女子サッカーリーグ選手権大会での優勝を果たすことができました。一月十六日に国立競技場で行われた決勝戦で、昨年優勝のブリマハムと対戦。延長戦を終えても決着がつかない苦しい試合でしたが、PK戦を4対2で制し、初の栄冠を手にすることことができました。

これからも、女子サッカーリーグを代表する日本一のチームを目指して取り組んでいきます。そして、ヴァッセル神戸とともに神戸を代表するチームとして、華麗に、そして見る人にとって楽しいサッカーを開催し、元気な神戸を発信できるよう、地道な活動を続けていきたいと考えています。

（田崎真珠株式会社 田崎ペルーザFC 部長吉田茂之 監督仲井昇）

■田崎ペルーザFC  
神戸市中央区港島中町7丁目3-1  
田崎真珠株式会社  
TEL 078・303・5400  
FAX 078・303・5423

# みんなおいでよ私学フェスタ (野田高校にて) ～いきいきと育つ子供たちを願いつづけて16年～



## ある集い★兵庫私学助成をすすめる会

「ジャンボ寿司のりって、どこにあるのかな、長い寿司をみんなで卷いたら楽しいだろなあ」と思つていた、そんなある日、垂水漁港にある神戸市漁協を訪問した。「長いのりはないけど、『須磨のり』で卷いてください！ 子どもたちのために応援しますヨ」と、やさしさの輪がひろがつた。寿司ネタは、食遊館にある「秋吉」が心よく、引き受けてくれた。ジャンボサラダ巻き寿司の誕生。「全長十メートルも」のサラダ巻きは前代未聞や」「それも四本巻いて、なんと『百人分かいな』、「ゲキウマ」。観客の拍手の渦の中、黒い一本のラインは、地域や子供たち、親や教師までも巻き込んで、太い心のパイプラインとして盛り上がつた。

これは、昨年十一月、神戸野田高校においての私学フェスタのこと。

この日、講堂では、高校生最後のステージと氣合いをいれてのギター演奏、生徒と教師の日々のふれあいの構成詩朗読。そして、記念講演は、妹尾河童さんの「少年H」で伝えたかったこと」と、少年Hの育つた時代を聞く。また教室では学校紹介写真展、運動場でのマーチングバンド演奏など、手づくりの催しに千人もが集まりました。

このグループは、教育界の発想マシーンとして楽しい交流を続けている。個性あふれる教育を願いながら歩み続けて、十六年。

三月には、近畿私学の親や教師、職員が日頃の子どもへの思いを出し合い、懇親。お互いに元気をもらおうと交流を予定。

子育ての悩み、ジャンボ巻き寿司に参加したい方はお電話ください。

（兵庫私学助成をすすめる会世話人 嘉納千紗子）

■兵庫私学助成をすすめる会  
神戸市中央区下山手通7・11・6 協栄ビル205号  
TEL 078・341・3904

## 旧居留地の都市計画 (2)

「神戸の建築文化を生む」

武田則明  
(建築家)

現在の旧居留地

神戸旧居留地は昨年一〇〇周年記念事業を開催した。一八九九年に下田の通商条約が改正され、居留地が日本に返還された。それまでの居留地は日本の権限が入り込めない治外法権の場所であり、居留地会議は各国の代表で運営されていた。従つて独自に居留地警察も存在していた。

一八七二年に作成されたJ.W.ハートの居留地の設計図を見ると居留地の東は生田川が、西には鯉川が流れ、旧西国街道沿いには北野川が掘状に流れ、南は海岸通りを挟んで海に面していた。まわりを水で囲まれ、當時は現在の北野町の木造異人館のように、ドイツ下見板にペンキ塗り、またはモルタルにペンキ塗り、日本瓦のコロニアルスタイルの商館と住居、煉瓦倉庫の三点セットが一区画約一〇〇〇平方メートルの土地に建っていた。

その典型的な例、十五番館は唯一国の重要文化財に指定されている。残念ながら煉瓦倉庫は壊されたが、この建物は建設当初の姿に復元修理された。そして阪神大震災で全壊した。国の面目をかけ、免震構造の基礎と煙突をコンクリートの柱とし、屋根裏に鉄骨を架けて復元された。この復元には当時の木造ができるだけ再利用しなければならないために、このような大げ

京都の着物文化、大阪の食文化に対し、神戸の建築文化と言われる原因はこの時代に形成された。もちろん、居留地が西洋文化の窓口であったことが大きい。神戸気質がモダンでクラシックであると言われる所以は既に西洋では古典的様式主義を脱していたが、古典主義の様式がもつとも新しい近代日本のスタイルとして受け入れられたからであろう。

クラシックがモダンになつた。

さな耐震方法が取られたが、この方法が眞に文化財を守ることなのか、いささか疑問を感じている。

日本が日清、日露、第一次世界大戦の戦勝国となるにつれてアジアの中で唯一の列強国の仲間入りをした。旧居留地ではロシアやドイツが撤退した後に、鈴木商店のような商社や船会社が進出してきて、コロニアアルスタイルの商館が次々と建て替えられていった。特に関東大震災で横浜港が壊滅的被害を受け、世界貿易の中心は神戸に移り、当時は貿易商社や船会社、ゴムや生綿の取引や検査業務が神戸に集中し、大正末から昭和の初めは神戸経済の全盛期を迎えた。この時期に全盛期に建てられた近代洋風建築が神戸の建築文化を育んだ。

京都の着物文化、大阪の食文化に対し、神戸の建築文化と言われる原因はこの時代に形成された。もちろん、居留地が西洋文化の窓口であったことが大きい。神戸気質がモダンでクラシックであると言われる所以は既に西洋では古典的様式主義を脱していたが、古典主義の様式がもつとも新しい近代日本のスタイルとして受け入れられたからであろう。

## 相生町の家



橋本修英  
((有)アーキテック)



暖炉のある居間と食堂



2階のパティオ



玄関ホール

スパニッシュスタイルは、大正末期から昭和初期にかけて、特に関西で人気を博した住宅様式である。

外壁全体をスペイン塗という微妙な陰影を作り出す左官工法で白やクリーム色に仕上げ、屋根に赤色の半円系のスペイン瓦やS瓦（昭和初期に日本で開発された瓦）を用いた洋風建築様式のこと、当時米国のかリフォルニア地方で流行したものが日本に伝搬したものである。

なぜ関東よりも、関西、特に阪神間で人気を博したかという理由の一つは、阪神間の気候風土にあるように思われる。土の色ひとつを例にとっても、関東ローム層の黒い土の上に建つスパニッシュスタイルの住宅と、御影石の砂の混ざった阪神間の白っぽい土の上に建つスペニッシュスタイルを取り入れた住宅専門会社・あめりか屋など

右記の理由以外にも、阪神間では、関西学院や神戸女学院の校舎をスペニッシュスタイルで設計した米国の建築家・ヴォーリズや、いち早く米国からスペニッシュスタイルを取り入れた

正末期から昭和初期にかけて、特に関西で人気を博した住宅様式である。

外壁全体をスペイン塗とい



49

設計者としては、この家が震災後復修されたヴァーリーズ設計の松本邸などと共に、震災前の阪神間の「まちの記憶」をよみがえらせる建築の一つとして根付いてくれることを心から願つてゐる。

特に阪急夙川駅周辺の、相生町、雲井町、殿山町にはその数が多く、戦後も丁寧に住み継がれて、阪神間らしい住宅地の景観を形作る重要な役割を果たしていたが、今回の阪神大震災によってその大半が破壊された。この家もそうした住宅の一つであったが、震災前の町のイメージをできるだけ復元したいという建築主の強い要望で、スペニッシュスタイルで再建された。

された高級住宅地に数多くのスペニッシュスタイルの住宅が建設された。

# 「竹久夢二」

「四つの恋のものがたり」

〈その十一〉 嫋々蠱惑、不思議な女・お葉

夢二 嫉妬に狂う

中右 瑛

「恋」

ある時は、歓びなりき

ある時は、悲しみなりき

いまは

十字架

〔詩集「夜の露台」より〕

夢二が最も愛した女性・彦乃との悲しい別離。やるせない夢二の恋の遍歴は、第四の女性・お葉へと移る。

彦乃が入院し、相思相愛の二人の仲を、彼女の父に引き裂かれ虚脱の中に沈みきついていた夢二の前に、一人の不思議な過去を持つ美しいモデルが現れたのだ。

大正八年、本郷・菊坂の菊富士ホテルにある夢二アトリエに通う

美少女。夢二が師と仰ぐ藤島武二のモデルで、数え十六歳。本名・佐々木カ子ヨ。永井兼代ともいう。夢二は「お葉」と呼んだ。典型的な秋田美人。すき通る白い肌、古風なタイプのお色気、いつも泣きそうな嬌々しい女とは、こういうタイプなのだろうか。痛みをこらえたようで世紀末的なタイハイの表情。十六歳の少女とは思えない程に、不思議な魅力を発散していた。

竹久夢二画「K夫人」  
〔藤島国手〕と、為書きがしてある。国手とは名医。あるいは医者をあがめている時のことである。藤島国手は、K夫人のため描いたといふもの。「K夫人」とは、寛先生の奥さまのことである。



三十六歳の夢二は、再び画家として、男としての情熱を蘇らせたのだ。お葉とは年齢が二十歳も大きくひらいていたのだが……。

大正八年、病床の彦乃への恋慕本「山へよする」を出版した直後の七月ごろ、モデルのお葉が通いはじめた。

お葉は、明治三十七年（一九〇四）三月一日、秋田（河辺郡和田村赤平字境田）生まれ、父は農業。しかしこれは戸籍上のことで、複雑な家族関係があり、大正五年（一九一六）十三歳のとき、歓楽街で働いていた実母と共に上京し、ひょんなことからモデルとなり、病身の母を助けて働いていた。

お葉は藤島武二のモデルであつたというが、実は「責め絵」の大家で奇人ともいわれた伊藤晴雨（明治十五年—昭和三十六年）のお氣に入りのモデルでもあつた。

晴雨は、女体を縛り、責めあげ、痛め、虐待のSMの世界に究極の絵画美を求め、「縛られた女こそ美しい」と、苦悶の女性美を懸命に写し、恍惚の極みに達する倒錯エロスを追求する「責め絵」と呼ばれた異端の性風俗絵師である。

身もあらわに縛られ、吊るされ、身悶えする表情、姿態を、まだ十四、五歳の若きお葉が懸命に演じた。お葉は描かれる喜び、責

められる快楽も感じたという。

モデルお葉のことを夢二は、「初めのうちはけなげで可愛い子だと  
思い、ある時から好きな娘と思いはじめ、今はなかなか憎らしい……  
と思うようになった」と日記に書き残している。

「明日、また来てもいい……」

お葉は夢二に甘えるように言う。

二人はいつしか深い仲になってしまった。

その直後の大正九年一月十六日、彦乃の死が夢二の許にもたらさ  
れた。

「再び恋はすまじ」

と誓つたのだが、夢二はお葉に、自然に深く深く傾倒していくつたのだ

つた。蠱惑で不思議な魅力を発散する美しいモデルの出現が、またも  
夢二をかきたてたのだった。

お葉を得て、夢二は爆発的な創作活動を示しはじめた。

夢二の傑作とされたわざでいる妖しい魅力の「黒猫を抱いた女——黒  
船屋」や、長崎旅行の想い出を描いた異国情趣溢れる「長崎士景」、  
様々な女たちの姿態や表情を半身絵に集約した「女十題」などは、  
丁度この頃の制作である。これらの絵に登場する女性は、初恋のひ  
とタマキや死に別れた彦乃の幻影、あるいは嫋々蠱惑のお葉でもあ  
ろう。夢二は画家として一番充実した時期でもあった。

十歳のちこ（不二彦）はお葉のことを、彦乃のときと同じように  
「お姉ちゃん」と呼んでいた。我がままな夢二と、子供のようにダダ  
をこねるお葉は痴話ゲンカが絶えず、お葉はよく泣き、藤島武  
二宅にもよく駆け込んだという。

お葉は過去に凄絶な経験をしたわりには純でやさしく、夢二  
にもよく甘えたという。お葉は男のなせるまま身をまかせる、  
自立のできない女だった！ とも伝えられ、痴女のようだ、と  
いう極論もあるくらいだ。

夢二はお葉が気がかりだった。以前から学生たちと恋愛遊戯  
めいたことを、何度も耳にしていた。

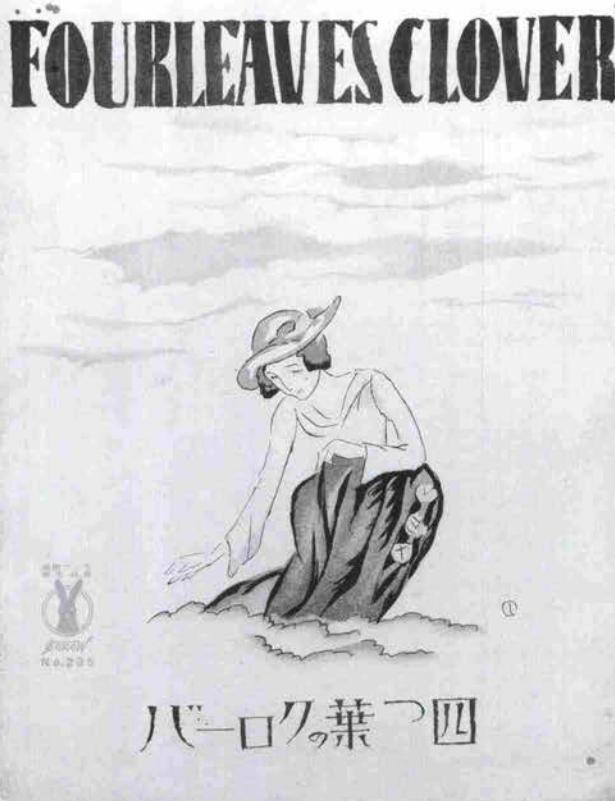
「浮氣しないだろうか……」

「若い恋人と……」

夢二はそんな妄想に悩まされ、嫉妬に狂つたのだった。

■中右 瑛（なかう・えい）  
抽象画家。浮世絵エッセイスト。

1934年生まれ。神戸市在住。  
「受賞歴」行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。  
浮世絵集研究の功績により浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫  
県文化賞、神戸市文化賞など受賞。  
現在 行動美術協会会員。国際浮世絵学会常任理事。著書「」、抽象画集  
「エリート・リンク／ミラクルブルーの世界」「浮世絵ミステリー」著談  
「浮世絵は18才だった」「忠臣蔵浮世絵」「豆本・夢二黒猫絵譜」がある。



セノオ楽譜「FOURLEAVES CLOVER—四つ葉のクローバー」夢二装画

# ミステリーグルメ

## 神戸篇

### ONE DAY LILY

— 一夜だけ咲く命の花 —

#### ウドノ葉生子

「奥

さん、お名前を教えていただけますか」

すっかり

「あら、まあ、ごめんなさい。すっかり  
あわてちゃつて。失礼いたしました。私は、渋谷の  
神宮前に住む横田三千子70歳です。夫は俊充73  
歳、原宿でアパレル関係の会社を経営しています  
の。会社の創業はですねえ」おっと、待つて。夫

人の真紅の口紅が薄い唇から少々はみ出し気味で  
あって、その口からあらゆるご自慢が乱射される  
のはたまらない。

「いや、お名前だけで結構です。多分、柴田先生  
の事務所から資料が届いているはずです」



神戸ポートピアホテル

「ああ、そうですか。いい選択です。神戸が誇る

このホテルは海辺に建つ、東洋的なムードを持つ  
豪華なホテルで、フランス料理の人気もなかなか  
のものだし、サービスも非常にいいので僕は好き  
です。ただ、今回はハコが大きすぎてちょっとガ  
ードが難しい。この事件が終わるまで動線の少な  
いホテルの方がいいでしょう。(ゆりちゃん)隣  
のホテルオーネクラ神戸(078-333-0111)をとつて。  
事務所の隣だから何かと便利だし、国内  
でも有数の格式あるホテルで評判も良いからご  
安心でしょう」

一瞬、夫人の顔に緊張感が。まずかったな。心  
配させちゃつたか。

夜は夫人から是非にと夕食の誘いを受け、三人  
でホテル内の二階にある中華料理「桃花林」に向  
かつた。

途中、あら、あら、見慣れた顔が。フロントロ  
ビーから汗をかきながら大股で急ぎ足でやつてく  
る男性が。

三ツ星ベルト株式会社の西河紀男社長である。  
いつもながらこの社長は忙しい。きっと、仕事が  
好きで好きで仕方がないのだろう。そんな感じで  
ある。

「やあ、西河さん急いでどうしたんですか」  
「あつ、ジュリアン。久しぶりやねえ…。相変わ

キヤンピングカーの車両後部にびっしりセット  
されているパソコン機材の情報機器の前で熱心に  
作業している宮乃ゆりの顔がうなずいている。

「ところで、今晚のお泊りはどちらで」

「ええ、私どもの神戸支店の者が神戸ポートピア  
ホテル(078-303-1111)をとつてている

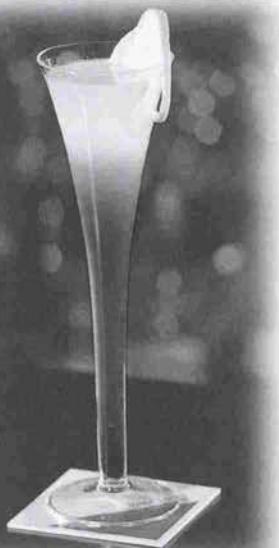
らす君も忙しそうやないの（さりげなく夫人に目が走る）今、仕事でね、会食があつて遅れてんねん。あつ、そろそろ、ちょっと話したいことがあるんで、あとから秘書に連絡させるわ。じゃあ、失礼！」

業績のいい会社はトップが元気だなあ。それにひきかえ、わが事務所は：ああ、ため息が：。

おつと、東京から福の神のご入来だった。人の不幸で飯を食うのは良心が少々痛むが、困っている人を助けるのはそもそも社会的救済なんだから、なあんて。

今夜も桃花林は最高の味。何と言つても代表料理は「かにの玉子入りふかのひれ」（3、4名で4800円）と「かにの手の揚げ物」（1100円）。相変わらずまい。後味が淡白でいつもわがグルメ感性にいつそうの磨きがかかる。

老酒の勢いと夫人の気持ちを考え、レディに優しい僕は三宮駅から北上の位置にある、仲間内の榎晴夫が47年も経営している老舗バー「トムキャントンティ」（078-331-2122）に案内する。



トムキャントンティのカクテル

このバーは神戸を代表する、屈指のクオリティとプライド高き実績を誇るバーである。

「何してたん？ ジュリアン」

「おつ、早速のきついお言葉。今日はやんごとなき姫君をお連れしたのに」

「それは失礼しました。あのね、さつきから河合ちゃんが必死になつて搜してたよ」

「へえ、なんやろ」

神戸地下街株式会社の営業企画部長の河合修はなかなかの切れ者。日夜スープーマン的活躍ぶりと同時に驚くほど気配りがあつて、まさに気は優しくて力持ち。僕は女性には人百倍気配り満点なんだが：。彼には脱帽。

「ところで今日は何を」

「うん。まず、奥さんが食通でいらっしゃるから榎君のご自慢をすすめてよ」

彼は日本バー・テンダー協会の役員でこの道の才一ソリティであるから、何といつてもおすすめはカクテル。

「奥さんには女性の健康を考えたザクロのエキスがたっぷり入ったフルーティなカクテル（マダム・ペルシャ）（1500円）がいいでしようね」「あらつ！ 美味しそう。それをぜひいただきたいわ」

「ゆりちゃんには（ビーチ・リキュール）（1200円）がいいと思う。これは爽やかな口当たりだから」

「何でもいただきます！ あつ、でも今日は仕事ですから、涙をのんでやめます。美味しさは次回にいたします」「あれつ、ゆりちゃん、偉いね」と榎君。「ほめられるほどじゃないですよ。当たり前！」

一時間後、気がかりな用件が控えているため、夫人とゆりをホテルに送つて事務所で軽くビールを飲みながら送られてきた資料にざつと目を通す。



桃花林

インプットされた写真は5枚あった。表参道の瀟洒な5階建てのガラス張りのファッショビル。夫俊充の柔軟な顔。風貌に似合わぬ冷たいまなざしが僕を凝視している。裏参道の数寄屋造りの2階建て豪邸。祝創業50年と記されたパーティで役員社員に囲まれた俊充。家族一族郎党の写真。どれも心の動きがない。未知の人だから何の感情もないのが普通であるが、僕の勘として何か読めないものがある。なんだろう。

他に情報としてこの3年間の会社業績、会社定款、家族などの戸籍謄本などもろもろの情報がコンピューターにあふれかえっていた。

さてと、ビールからつくり置きのコーヒーをカップに注いでグイと一気に飲み干した。

情報分析にかかるとした途端、頭の中がカクンときた。

「桃花林」の老酒、「トム・キャンティ」のウォッカ・マティーニ、事務所でのビール、これぐらいで僕が酔うはずがない。まして酔つたこともないのに。こりやあ、変だ。僕らしくない。事務所に着くまでなんともなかつたのだから。昨夜もよく眠つたし、睡眠不足でもない。どうしたんだろう。そうだ、コーヒーを飲んだ。コーヒーをカップを必死になつて凝視する。いやな予感だ。誰かこの事務所に入った者がいる。飲み口のところが気のせいかうつすらと一筋残っている。眠気が増す中、必死になつてデスクの下段の引き出しから、眠気を解除する錠剤をフラフラ頭でやつと探し当てる。それを2錠、大急ぎで飲み込む。よかつた。間一髪、眠り姫ならぬ、眠り王子にならなくてよかつた。僕を眠らせる根拠は？

そして誰が？ 何のために？



深夜だったが、東京の柴田敏之先生の自宅に電話を入れる。

「先生、横田夫人が来られました」

「うん、うん。夫君はファッショントリニティ連載の会社をやっているんだが、裏では情報関連の会社もやつていてなかなかの実力者でね。うちが顧問をやつているんだが…。さて、今度の仕事はピンボーンな

これで、夫人の用件は確実に事件に変貌した。



ウドノ葉生子

作家、TVイベントプロデューサーなど多様に活躍中。月刊神戸っ子に「松造家ものがたり」連載。若者向け著書「音声多重面白構造」(三水社)で人気を集め。最近作「ああ、万事塞翁がおんなん」(文藝社)では神戸花隈の花柳界の歴史を綴る。ラジオ日本「ウドノヨーコのざくくバラエティ」のパーソナリティを阪神・淡路大震災まで務める。

(つづく)

三ツ星ベルト株式会社

君にまたとない、おいしい仕事だからガンバッテやりなさい」

「ありがとうございます。先生にはいろいろすみません。頭が上がりませんよ。ところで先生、これは事件になりました。僕の事務所に誰か忍び込んだようだ」

「え、そうなの。じゃあ、夫人にはくれぐれも気をつけてあげて」

「わかつてます。アシスタントの女の子をつけてますか、もう一人男をつけます」

「そうして。着手金として100万送つておこう」「わおー！ 助かります」

「もつと細かい資料は今、小畠英一弁護士がまとめているから。この社長というのは叩き上げの成功者なんだが、普通の成り上がりと違つて美術文化にも深い教養人でね。性格は穏やかで寡黙、ア

クがない。こういう世界では珍しい植物的な感じで、私ともよく気が合う。目に見える敵はないが、うーん、掘り起こせばいるかもー」

「わかりました。私的な裏関係は僕がります」「しつかりやつてくれよ。君も充分気をつけてね」

「はい！ ありがとうございます」

先生の言葉がいつもながら温かい。事は始まつた。

神戸ファッショングループ 神戸のファッショングループをめざす

# K.F.S.NEWS

コウベ ファッショングループ

206

事務局/神戸市中央区下山手通3-1-18  
ツインズアビル4F 月刊神戸っ子内  
TEL. 078-331-2246  
FAX. 078-331-2795

## 「ものづくりに心をこめて」 株式会社ボンニー 取締役 平上素行

今回は神戸のボディファッショナー 株式会社ボンニーの平上素行さんにお話を伺いました。

からだの一部になるもの

「昭和32年の入社以来、女性に常に美しくてもらいたいという気持ちで仕事に取り組んでいます。ランジェリーはからだに直接つけるのですが、着ている実感



レース使いが美しい自社製品の前で

が無いほど、からだの一部になるものが一番の理想ですね」

### ファッショングループ

「近年の市場環境は、消費者嗜好が多様化し、ライフスタイルの変化、ファッショングループの変化が激しくなっており、アウターの流れがパンツスタイルになり、丈の長いスリップを着る人が減少しています。また、キャミソールのようにアウターとアンダーウェアの区別が無くなり、ファッショングループの多様化がみられますね。特にピュアヤング層と呼ばれる20歳までの世代が流行を生み出す傾向にあり、常に市場調査を行い、お客様の声を製品に反映するように心掛けています」

これからのものづくり

「世の中は今、便利さや利潤ばかりを追求

し、何か大切なものを忘れてしまっているような気がします。どこかたがが外れて、普通のことがおざなりにされてしまっているようです。このような時代だからこそ、私たちがつくりに携わる者は当たり前のことですが、心をこめて作った製品を世の中に提供し、女性を美しく、そして華やかな社会にしていきたいと考えています」

### ● K.F.S.マンスリーのお知らせ●

神戸ハイカラ文化シリーズ

講演「神戸外国人居留地と15番館」

講師 園田学園女子大学国際文化学部教授

田辺眞人

日時/5月19日(金) 18:30~20:30

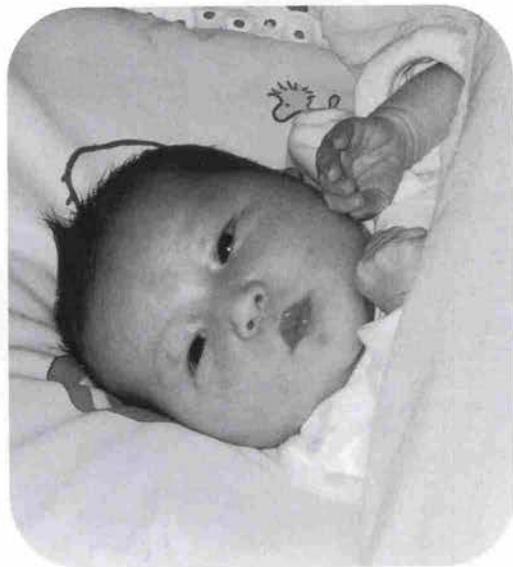
場所/カフェド神戸旧居留地15番館

神戸市中央区浪花町15番地

会費/3500円



## ママといっしょに



あかちゃん: 平井 祥世 ちゃん

(平成11年11月9日生まれ)

マ マ: ゆかり さん

「思いやりのある、やさしい子に育ってね」

## ★佐本産科・婦人科★ 佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
TEL: 078-575-1024 (病室TEL: 078-577-7034)

市バス上沢4停南スグ

●駐車場完備●